

頭あたまが ずきずきと いたむ。せきが、ゴホゴホ  
出てくる。ふとんから おきあがると、頭あたまが く  
らくらする。

今日は たのしみきようにしていた えん足そく だった  
のに、どうやら かぜを 引ひいてしまったようで  
す。

ぼくは、ふとんなかの中で しくしく 泣なきました。  
すると、お母かあさんが へやに 入はいってきて

「なにくよくよ してるの。早くはや なおしなさい」と言いいました。

そんなこと言いわれても、えん足そくに行くことはでき  
ないと 思おもいつつ、「うん、早くはやなおすよ」と ぼく  
は しょんぼり へんじを しました。

① くよくよしてる「ぼく」の きもちとして あっているものに  
○をつけましょう。

ア 体たいちようが わるくて ずっと ふとんで ねていたいとお  
もっている

イ かぜを ひいて えん足そくに いけなくなったことを ずっと  
かなしんでいる

② しょんぼりの いみとして あっているものに ○をつけましょう。

ア 元げん気がなく・さびしそうに

イ まよいながら

③ 体たいちようが わるいようすを あらわす 4文字もじの 言葉ことばを  
3つ 文ぶんしよう中ちゆうから 書かき出だしなさい。

頭あたまが

せきが

頭あたまが